

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 比較的平坦な水田農業地帯。
- 地域の担い手の減少・農業従事者の高齢化が進んでおり、農地の受け手となる担い手の確保・育成が必要。

【支援内容・背景】

- 農業従事者の高齢化や後継者不足に対応するため、担い手の確保・育成に向けた、農作業の省力化や効率化の支援が必要。
- 助成対象者は、同地区の中心的な担い手である農業法人。同法人の経営発展が地域農業の維持・発展に繋がることから農業用機械の整備等、経営基盤の強化を支援。



助成対象者「(株)本原農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成29年 株式会社本原農園 設立
- 令和元年 産業用ドローン 導入
- 令和2年 乾燥調製施設 一式 導入
- トラクター1台 導入
- ロータリー1台 導入
- 令和3年 GPS直進アシスト田植機導入
- 令和4年 代表取締役 変更
- " 食味・収量センサー付コンバイン 自動操舵システム設備 導入
- 令和5年 玄米冷蔵保管庫 稼働
- " 経営改善計画 再認定

《事業活用の背景》

- 横越地区を含む三国町浜四郷地域は農業従事者の高齢化が進み、地域の担い手として期待が高まっていた。
- 地域の農地の受け皿として経営面積の拡大を進めるにあたり、生産能力の向上と農作業の省力化・効率化による経営基盤の強化を図るため、乾燥調製施設およびトラクターを導入した。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

- 売上高 42 百万円
- 経営面積 26.9 ha
- 経営品目 水稻23.8 ha、人参2.4 ha、大根0.6 ha、メロン0.08 ha、こかぶ0.08ha
- 地区内12.2 ha 地区外14.7 ha

《事業による整備内容》

- 乾燥調製施設 一式
事業費 14,850 千円
(国費 4,050 千円)
- トラクター 1台
事業費 5,368 千円
(国費 1,464 千円)
- ロータリー 1台
事業費 792 千円
(国費 216 千円)

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 売上高 71百万円 **(169%)**
- 経営面積 43.3ha **(161%)**
- 経営品目 水稻39.1ha、人参3.3 ha、大根0.6 ha、メロン0.1 ha、こかぶ0.16ha、ぶどう0.1ha
- 地区内14.6ha 地区外28.7ha

事業の
効果

《対象者》 乾燥調製施設等の導入により、地区内外で経営面積の拡大が図られ、売り上げが増加。

《地 区》 今後、地域計画に位置付けられ、引き続き農地の受け皿として経営し、農地を維持。
地区内の農地の集積を拡大し、さらに、担い手の不足する地区外の農地の集積も拡大。